

# 目次

前書	利實の改革、定着から発展へ	激動を乗り切った流派の思い	1
目次			4
口絵	本多宗家三代	ビジュアル百年	9
挨拶	真の歩みを知ること	本多流四世宗家	25
祝辞	流祖の教え生かし現代弓道の盛上げを	本多	27
		全日本弓道連盟会長	
		中野 秀也	
		利永	
		秀也	

## I章 利時宗家時代・上

### 強い発信力で弓界を席捲

.....	31
-------	----

- ◇家元は誰に、緊迫の通夜 ◇利時養育へ原初・生弓会 ◇社団法人生弓会で再発足 ◇昭和版『弓術書』を
- 発行 ◇本部道場を改築、大道場に ◇会員六百五十人、支部十一に ◇長男・利生の誕生に沸く ◆洗心閑
- 話 オペラ歌手志望の利時 ◇明るく家族思いの利時 ◇遺品を展示し没後十七年祭 ◇『会報』発行、全国
- へ発信 ◆洗心閑話 導火線は足尾の月報 ◇射法指針に本多流七道 ◇利時が「細表」で心法論 ◇独稽古
- で気分味わう射を ◇着眼点は的のきりもみ ◇利時宗家の弦取り指導 ◇段級審査も八年に整備 ◇印可制
- 度も復活し公開 ◇利時支えた東大・五本柱 碧海康温・関屋龍吉・和田盛一・村尾圭介・高木斐 ◆洗心閑
- 話 道場破りを返り討ち

## II章 利時宗家時代・下

### 九州遠征や学校弓道支援

- ◇日本五人男のその後 ◇多彩で活発な生弓会活動 ◇弓界をリード、本多一門 ◇『弓道講座』で論陣を張る ◇二千頁の『辞典』作った道鎮 ◇流祖偲び懸案の九州遠征 ◇武徳会弓道要則を批判 ◇剛弓多く、矢飛び鋭く、弓も飛ぶ ◆洗心閑話 文豪・吉川、本多流で頑張る ◇宗家の稽古道場・洗心洞 ◇高的中の、カミソリの射 ◇学生弓道に深く浸透 ◇学生を支援、喝も入れる ◇弓道の正科運動で成果 ◇天覧試合で本多の活躍 ◇満鉄指導もした師範たち ◇射評も厳しく熱血指導 ◆洗心閑話 武徳殿で弓を飛ばす ◇天皇を指導した大内義一 ◇制約された戦時下の活動 ◇『会報』は八号で休刊に ◇ヒトラーに弓具を贈呈 ◇本部道場が空襲で焼失 ◇緊迫事態記す一高部誌 ◇本多一門の群像―追悼・思い出の記①

## III章 利生宗家時代・上

### 正面打起が弓界の主軸に

- ◇無念の利時宗家の早逝 ◇三世宗家の後見人に高木 ◇動乱期に「全聯」支える ◇遠慮深い日弓連会長・樋口 ◇利時次女がGHQ競技会で奮戦 ◆洗心閑話 一門に発破、行動力の洋子 ◇研究会で流派活動を推進 ◇研究会登録は三百人余に ◇演武で本多流アピール ◆洗心閑話 弓術部命名は高木指示 ◇『教本』で正面打起が主軸に ◇弓身心の調和の高木哲学 ◇「弓道体操」貢献の小野父子 ◇東京五輪対応で東大勢活躍 ◆洗心閑話 名手の泣き所は雷様 ◇利生宗家継承、生弓会の復活 ◇流派背負った高木逝去 ◇十一人に利生・高木連名の奥伝 ◆洗心閑話 老師の秘技も伝える横山日誌 ◇利生、学生弓道に活路 ◇高校生に大人気の洗心弓友射会 ◇利實没後五十年祭も開く ◇生弓会『会報』を復刊 ◇「文庫」守り抜いた戸倉

## IV章 利生宗家時代・下

### 取組んだ組織・運営改革

- ◇十年ぶりに『会報』百二号 ◇京都研修会で交流拡大 ◇『始祖射技解説』を發刊 ◇寺嶋と石岡の射法論争
- ◇寺嶋へ手厚く奥伝授与 ◇悪魔の射か、寺嶋大往生 ◇利生宗家の範士披露射会 ◇寂光洞が流派の拠点道場に
- ◇選手権大会がスタート ◇天皇盃など大会で一門活躍 ◇層の厚い指導陣 ◇平成元年の改革、積極運営に
- ◆洗心閑話 前田葬儀に千葉が鳴弦 ◇範士研修で巻藁射礼披露 ◇名著に石岡の『弓道修行』 ◇盛り上がる七十周年射会 ◇速く鋭い矢を飛ばせ ◇思いを込めた利生追悼集 ◇本多一門の群像―追悼・思い出の記②

## V章 利永宗家時代・上

### 『本多流弓術書』を發刊

- ◇告別式で宗家継承表明 ◇宗家宅の勉強会が発足 ◆洗心閑話 明朗、快活に弓を楽しむ ◇『会報』が充実、多彩に
- ◇本多流幕目、京都で脚光 ◇繰大前生かし全弓連新射礼 ◇小野崎が人名大事典編纂 ◇広報部門で活躍の一門 ◇盛大に四世襲名披露 ◇發展目指す新たな節目に ◇『本多流弓術書』を發刊 ◇多彩に八十周年行事
- ◆洗心閑話 活発に堅物射抜き ◇力強い支援者・鴨川信之 ◇「中りて矢早」論が活発に
- ◇東大が『本多流射法要綱』を作成 ◇『射礼解説書』を發刊 ◇元氣印・乙巳追悼 ◇全弓連から流派特別表彰

## VI章 利永宗家時代・下 科学的解析に取組む

- ◇科学的解析は本多の伝統 ◇スピードガンで離の良否を問う ◇交流拡大図る中央研修会 ◆洗心閑話 異文化交流、詩吟とコラボ ◇国際交流も活発に ◇欧州勢の動き活発に ◆洗心閑話 深キヨン指導に東大部長員 ◇選手権大会25回で閉幕 ◇遠的大会が新たに出発 ◇洗心洞での納射会が人気に ◇常時二百人超え通信射会 ◇「支部充実」へ合宿研修会 ◇能安墓参で歴史研究 ◇平成でも一門の活躍続く ◇指導員委嘱し活動を強化 ◇「一般財団」で登録、再スタート ◇新体制の役職者の顔ぶれ ◆洗心閑話 “百歳王”で話題の神麻 ◇没後百年を前に宗家が訴え ◇盛大に流祖没後百年射会 ◇利實杯は西崎が皆中優勝 ◇欧州勢が爽やかな頑張り ◇本多流正史の編纂成る ◇本多一門の群像―追悼・思い出の記③

## VII章 座談会

### 森々颯々 本多流百年に想う

- 【一節】百年の感慨、新たな出発点に ◇苦節乗り越えた一門の覚悟 【二節】各分野で光る一門の活動 ◇期待される指導的役割 ◇実業団の色的は横山提案 ◇学生弓道で本多の本領発揮 ◇流派の拠点、洗心洞と寂光洞 ◇目を見張る欧州勢の活動 【三節】生弓会運営の苦勞 ◇平成元年コミティ21の改革 【四節】「中りて矢早」「剛健典雅」論 ◇本多流の核心を整備しよう 【五節】流派弓道の役割と対全弓連関係 ◇「矜持」を持って対応を 【六節】本多流隆盛への提言 ◇会員増・資金増へどう挑むか ◇もっと積極的な情報発信を ◇出席者プロフィール

資料編

資料 I	本多流年表 (利時・利生・利永三宗家時代)	.....	506
資料 II	本多宗家著作集 (利時・利生・利永三宗家)	.....	512
資料 III	利實逝去時を伝える伊藤家文書 (全文)	.....	515
資料 IV	一般財団法人本多流生弓会定款	.....	519
資料 V	参考文献 (下巻)	.....	525

あとがき

『正史』踏まえさらなる飛躍を 「語り部」役、バトンタッチ宜しく

筆者・東京大学弓術部師範 小林 暉昌